

情 報 公 開 文 書

研究の名称	帝王切開が母児に与える影響について（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景
研究の概要	【研究対象者】 エコチル調査に参加に同意された方とお子さま100,144 組 【研究の目的・意義】 帝王切開によって乳児の腸内細菌叢が自然分娩児と異なり、アレルギー疾患発症率も高くなることが知られている。また、帝王切開を受けた母は母乳率が低くなり、産後うつになる率も上昇する。そこで本研究では、児の排便習慣や母の児に対する愛着形成をアウトカムとし、主たる曝露変数を分娩様式としその関連を調査します。 【研究の方法】 国立環境研究所内のエコチル調査コアセンターが、エコチル調査のうち、出産前からお子さんが3歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答、及びカルテから転記された情報を、匿名化した上で本学に提供します。それらの情報を、本学で解析・評価します。 【研究期間】 倫理審査委員会承認後～2022年（令和4年）3月31日 【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （他機関への提供の有無）	分娩様式、母の育児ストレス、児の排便状態、出産時年齢、喫煙、飲酒、出産歴、妊娠合併症の有無、母親の既往歴、教育歴、婚姻状況、世帯収入、母親の体格、母体の妊娠中の体重増加、周産期の運動習慣、妊娠合併症、妊娠期間、分娩時の異常、新生児の計測（体重・身長・頭囲）新生児の身体異常、児の発達評価（0.5～3 歳）医師による精神運動発達遅滞の診断（0.5～3 歳）など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景・准教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景・准教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7279 FAX:076-434-5023 E-MAIL keihama@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景・准教授